

令和4年度 秋田県観光振興ビジョンに基づく具体的な取組について【地域別プロジェクト】

資料5

鹿角地域【目指す姿】北東北のど真ん中！から世界遺産・国立公園の魅力を発信！～90分圏内で秋田・青森・岩手を楽しむ～

プロジェクトの柱		取組方針	令和4年度の取組内容（県、市町村、観光協会等）	R4実績（R4.8.1現在）
1	世界文化遺産の「縄文遺跡群」をセールスポイントとした広域連携	(1)体験型観光コンテンツの開発 (2)広域連携による観光誘客	(1)体験型観光コンテンツの開発 ・JOMON体感事業によるコンテンツ開発等(鹿角市) (2)広域連携等による観光誘客 ①新緑から紅葉までぐるっと十和田八幡平観光キャンペーンの実施(盛岡広域振興局と共同) ②御所野・大湯・是川・縄文周遊ルートの確立(県北広域振興局二戸地域センターと共同) ③世界文化遺産登録PRパネル展の開催(北秋田地域振興局と共同) ④白神山地と縄文遺跡群共同フェアの開催(北秋田・山本地域振興局と共同) ⑤ボランティアガイドの研修(伊勢堂岱遺跡・御所野遺跡と合同) ⑥「大湯環状列石」二次アクセスの検証	(1)体験型観光コンテンツの開発 ・縄文食メニュー(R3完成)、AR・VR体感メニュー(R4年度末完成予定) (2)広域連携等による観光誘客 ①十和田湖八幡平観光パスポート発行(2万部作成) ①スタンプラリー実施中(11/3まで) ②縄文周遊マップ作成(約1万作成) ②スタンプラリー実施(11/30まで) ③各種イベントと合同で開催(6月、7月、8月など) ④アルペで開催(7/30) ⑤秋に実施予定 ⑥タクシーへの半額助成を行い、利用者アンケートを実施(7～10月)
2	「鹿角でSDGsを学ぶ！」をテーマにした教育旅行の誘致	(1)鹿角の強みを生かしたSDGs学習メニューの開発 (2)岩手県及び周辺自治体と連携した教育旅行の誘致・PR	(1)鹿角の強みを生かしたSDGs学習メニューの開発 ・専門家の指導の下、体験型コンテンツの磨き上げを実施 (2)岩手県及び周辺自治体と連携した教育旅行の誘致・PR ①学校・旅行会社等を対象に鹿角地域の素材を売り込むキャラバン等を実施 ②観光・宿泊施設、教育関係者等による意見交換会を実施	(1)SDGs学習メニューの開発 ・秋頃実施に向け検討中(尾去沢鉱山、エコタウンセンターなどを想定) (2)教育旅行の誘致・PR ①北海道へ誘致活動(7月、8月予定) ②開催予定(R4.9月)
3	「十和田八幡平国立公園」における新たな魅力創造による誘客促進	(1)八幡平温泉郷エリア (2)十和田湖「西湖畔」エリア (3)十和田湖「和井内」エリア	(1)八幡平温泉郷エリア ・八幡平の魅力アップに向けた構想の策定(鹿角市) (2)十和田湖「西湖畔」エリア ・十和田ふるさとセンターの整備(小坂町) (3)十和田湖「和井内」エリア ①「和井内」地区道の駅の周辺整備 ②ヒメマスによる誘客促進	(1)八幡平温泉郷エリア ・魅力アップ構想に係る実施設計委託を実施予定 (2)十和田湖「西湖畔」エリア ・アクティビティ及びワーケーションシヨンの拠点施設を整備(7月稼働) (3)十和田湖「和井内」エリア ①R5秋にオープン予定 ①青森も含めて周遊に関する意見交換などを行う予定 ②ヒメマスの展示など整備中

北秋田地域 【目指す姿】リアル“な”体験からリアル“を”体験する奥秋田への誘い ～来なくても楽しめる 来たらもっと楽しめる 大館・北秋田～

プロジェクトの柱		取組方針	令和4年度取組内容（県、市町村、観光協会等）	R4実績（R4.8.1現在）
1	SDGsに深く関わるマタギ文化を学ぶコンテンツづくり	【リアル“な”体験(仮想体験)】 【リアル“を”体験(現実体験)】	【リアル“を”体験(現実体験)】 ①マタギの野営レストラン(東北観光推進機構) ・アウトドアとマタギ食を掛け合わせた体験プログラムを造成 ②マタギ体験の提供 ・マタギと一緒に山を歩くインバウンド向けロングトレイル(秋田犬ツーリズム)	【リアル“を”体験(現実体験)】 ①ツアー内容の検討・現地調整中 ②ガイドトレーニング・ルート確立(～12月)、効果検証(～R5.3月)
2	伊勢堂岱遺跡を核とした縄文文化を体験できるコンテンツの開発	【リアル“な”体験(仮想体験)】 【リアル“を”体験(現実体験)】	【リアル“な”体験(仮想体験)】 ①世界遺産「伊勢堂岱遺跡」のXR化(北秋田市) 【リアル“を”体験(現実体験)】 ①縄文の暮らしや文化の体験(北秋田市) ・勾玉づくりや土器・土偶づくり、縄文料理体験等	【リアル“な”体験(仮想体験)】 ①バーチャル体験コンテンツ、出土品の3Dデジタル化完成予定(R5.3月) 【リアル“を”体験(現実体験)】 ①縄文まつり開催(9月)
3	キラーコンテンツの「秋田犬」を活用したアニマルツーリズムの推進	【リアル“な”体験(仮想体験)】 【リアル“を”体験(現実体験)】	【リアル“を”体験(現実体験)】 ①秋田犬に会える拠点 ・観光交流施設「秋田犬の里」(大館市) ②「ハチ公生誕100年プロジェクト」始動 ・ハチ公生誕100年記念事業(R5)に向けた交流促進	【リアル“を”体験(現実体験)】 ①「秋田犬の里」来場者50万人到達イベント開催(4月) ②渋谷区・大館市交流促進協定締結(5月)
4	”奥秋田”を体感できるアクティビティの提供	【リアル“な”体験(仮想体験)】 【リアル“を”体験(現実体験)】	【リアル“を”体験(現実体験)】 ○“各種体験”コンテンツの提供 ①樹氷教室(森吉山の樹氷案内協議会)、森吉山自然観察会(森吉山阿仁スキー場) ②SUP(森吉海洋クラブ)、カヌー体験(カヌーシーダ秋田) ③野遊びSDGsの推進(大館市、秋田犬ツーリズム協力) ・五色湖周辺エリアの整備 ④自転車をはじめとしたスポーツツーリズム ・鉄道と自転車の組合せた新たなコンテンツ造成 (やってみよう!北秋田 北秋田地域素材活用推進協議会) ・秋田内陸線「サイクルトレイン」を活用したテストライド(北秋田地域振興局) ⑤「奥秋田」大館の食・歴史・産業コンテンツ開発(秋田犬ツーリズム) ・伝統野菜「大館地大根」をはじめとした『食』と、自然や文化に触れる『アクティビティ』を組み合わせた、地域の看板商品となりうる観光コンテンツの創出	【リアル“を”体験(現実体験)】 ①樹氷教室(R5.1月～3月)、自然観察会(6月～10月) ②SUP(R4.6月～)、カヌー(6月～10月) ③五色湖エリア整備に係る基本・実施設計(～R5.3月) ④スポーツツーリズム ・体験モニター(8月～9月)、動画公開(11月) ・テストライド(9月) ⑤モニターツアー実施予定(2回、9月・11月)

山本地域 【目指す姿】世界自然遺産「白神山地」に代表される“本物の大自然”と“人”にやさしいサステナブルな観光地域づくり

プロジェクトの柱		取組方針	令和4年度取組内容（県、市町村、観光協会等）	R4実績（R4.8.1現在）
1	自然保護と観光振興の両立に向けた白神が有する価値の地元理解促進と地域ブランドの確立		○あきた白神ツーリズム(DMO)を中心とした観光地づくり ・白神山地を中心とした地域の観光地づくりのビジョンに係る協議 ・旅行者への情報発信に係る協議 ・体験型コンテンツづくりに係る協議 ・受入態勢の整備に係る協議 ・旅行商品の販売方法に係る協議	○月次会議の実施 ・昨年度取組結果の検証のほか、下記の実績にある、OTA販売に向けた必要性の説明や、着地型旅行商品の棚卸しの依頼等(5月) ・OTA販売に係る連携するオンライン販売業者に関する報告、あきた白神ツーリズムのHPでの情報発信の充実に係る協議等(7月)
2	環境と人にやさしい受入体制の充実	(1)地域認証制度の創設によるエコフレンドリー(自然に優しい)な取組の推進 (2)エコカーのレンタル・送迎拠点の整備 (3)初心者でも手軽に自然体験アクティビティを楽しめるグッズレンタルの整備	(2)エコカーのレンタル・送迎の拠点整備 ①エコカーの貸出に係る現状把握の実施 ②再生可能エネルギーの活用検討 (3)自然体験アクティビティを楽しめるグッズレンタルの整備 ・あきた白神ツーリズムが中心となって、着地型観光専門OTAを通じた体験商品販売のサイト登録を推進	(2)エコカーのレンタル・送迎の拠点整備 ①市内4店舗や大館能代空港の営業所において、車両グレードに係るアンケートを検討中 ②再生可能エネルギー利用を証明する「グリーン電力証書システム」に係る基礎情報を収集中 (3)グッズレンタルの整備 ・体験型コンテンツのOTA販売必要性について、管内事業者に対する説明会を開催(5月)
3	「本物の大自然」と「地元住民との交流」を核とした誘客の拡大	(1)あこがれの場所「白神」で楽しむ多様な体験メニューづくり (2)風土・暮らしの観光コンテンツ化 (3)DMOなどとの連携によるプロモーション	(1)「白神」で楽しむ多様な体験メニューづくり ①体験メニューの棚卸しの実施 ②流通販売に向けた受入環境の整備 ③あきた白神ツーリズムが中心となって、着地型観光専門OTAを通じた体験商品販売の促進 (3)DMOなどとの連携によるプロモーション ・大館能代空港3便化を契機とした空港利用及び商品造成支援の活用	(1)「白神」で楽しむ多様な体験メニューづくり ①販売登録に向けて、管内事業者に対して着地型旅行商品の棚卸しを依頼(5月) ②③一部体験メニューを、北東北三県観光キャンペーンで販売を開始 (3)DMOなどとの連携によるプロモーション ・ファミツアー参加業者や連携している旅行会社に対し3便化と商品造成支援の周知 ・秋田市で「白神山地と縄文遺跡群共同フェア」開催(鹿角・北秋田地域振興局共同)(7月)

秋田地域 【目指す姿】大自然を満喫するアクティビティの充実と日常生活の魅力発信による”生活観光”の推進

プロジェクトの柱		取組方針	令和4年度取組内容（県、市町村、観光協会等）	R4実績（R4.8.1現在）
1	男鹿の海・山で楽しむ、アクティビティなどの充実・提供	(1)「アクティビティ」の充実による誘客の推進 (2)男鹿ならではの「食」の充実による誘客の推進 (3)多様な「宿泊」の展開	(1)「アクティビティ」の充実 ①E-bikeを活用したスポーツツーリズムやナマハゲに係る文化ツーリズムを推進（男鹿市） ②遊覧船を活用した男鹿半島西海岸の優良なコンテンツの磨き上げやPR（男鹿市）	(1)「アクティビティ」の充実 ①②男鹿市において事業を実施中
2	「五城目朝市」から広がる暮らしを楽しむ”生活観光”の推進	(1)「暮らしから染み出てくる魅力のおすそ分け」をキーワードにした「生活観光」の推進 (2)「生活観光」をきっかけとした関係人口等の拡大と地域の活性化	(1)(2)「生活観光」の推進 今後の『生活観光』の推進計画(モデルプラン)の作成を業務委託	(1)(2)「生活観光」の推進 ・R4.8月上旬 契約締結予定(受託者:一般社団法人ドチャベンジャーズ) ・契約期間:契約日～R5.2.28
3	交通結節点における観光情報の発信強化によるプレジャー需要等の開拓		(1)観光情報の発信強化 ①マイクロツーリズムで流動する県内観光客や、秋田駅周辺の宿泊施設に滞在する観光客などに対し、秋田駅を起点として気軽に訪れることができる秋田管内の観光情報を掲載したマップを作成 ②年度内に開催するイベント等において、作成したパンフレットを活用	(1)観光情報の発信強化 ①秋田・男鹿・潟上・南秋エリアガイドブック「ぶちたびあきた」の作成(R4.7.29納品) ②秋田駅周辺の宿泊施設等に配布(8月)

由利地域 【目指す姿】人の営みと自然の営みが共存・融合・調和する鳥海エリア

プロジェクトの柱		取組方針	令和4年度取組内容（県、市町村、観光協会等）	R4実績（R4.8.1現在）
1	鳥海山ブランド力を生かした観光振興		○由利地域における域内観光の推進を図る体制（由利地域観光推進機構） ・由利本荘市、にかほ市、管内観光事業者等と連携 ・管内周遊イベントの実施、情報発信等 ○環鳥海地域における広域的な観光推進を図る体制（環鳥海連携事業実行委員会） ※環鳥海地域：秋田県由利本荘市・にかほ市、山形県酒田市・遊佐町 ・山形県（庄内総合支庁）、由利本荘市、にかほ市、酒田市、遊佐町等と連携 ・広域周遊観光イベントの実施 ・山形県と連携した環鳥海共同プロモーションの実施	○由利地域観光推進機構 ・管内を巡るスタンプラリーを実施（4/9～5/31） ・管内を周遊する旅行商品の造成を支援 ・県外の旅行会社へ訪問営業（東北5県） ・宮城県の旅行会社を招聘するモニターツアーを実施（7/26～27） ・SNS等を活用した管内の情報発信や投稿キャンペーンの実施 ○環鳥海連携事業実行委員会 ・環鳥海地域の観光施設を巡るスタンプラリーを実施（7/20～10/31） ・「まるっと鳥海ドライブガイド」改訂版を作成（2万部） ・SNS等を活用した環鳥海地域の情報発信や投稿キャンペーンの実施
2	各種アクティビティ等の充実による誘客の促進	(1)アウトドア・アクティビティの充実 (2)スポーツを通じた交流人口の拡大 (3)観光コンテンツとしての由利高原鉄道の充実	(1)アウトドア・アクティビティの充実 ①アウトドアアクティビティ拠点となるモンベル直営店の整備等(にかほ市) ②Instagramを活用したキャンプ場に関する写真投稿キャンペーンの実施(※R3年度末に管内のキャンプ場のマップを発行) (2)スポーツを通じた交流人口の拡大 ・ナイスアリーナへスポーツ合宿・大会等の誘致(由利本荘市) (3)観光コンテンツとしての由利高原鉄道の充実 ①由利高原鉄道によるイベント列車の運行 ②宮城県の旅行業者を招いたモニターツアーの実施	(1)アウトドア・アクティビティの充実 ①モンベル直営店:進行中(R5.秋 オープン予定) 竹島島の艇庫建替:モンベル関連会社へ設計支援委託 ②キャンペーン応募件数11件(7月末)(5月～10月まで) (2)スポーツを通じた交流人口の拡大 ・バドミントン日本代表合宿(7/18～23) (3)観光コンテンツとしての由利高原鉄道の充実 ①「こいのぼり列車」(4/23～5/5)、「たなばた列車」(6/25～7/7)が運行 ②アテンダントが乗務する「まごころ列車」に乗車(7/27、5名)
3	「エコ」「ジオ」「環境」等を切り口としたサステナブルツーリズムの推進	(1)鳥海ダムを活用した観光コンテンツの開発 (2)ジオパークの活用による観光産業の振興	(1)鳥海ダムを活用した観光コンテンツの開発 ①ダム建設現場見学のための展望台の設置(鳥海ダム工事事務所) ②ダム工事現場見学ツアーの催行(由利高原鉄道) (2)ジオパークの活用による観光産業の振興 ①AR技術を活用したコンテンツ造成(にかほ市) ②ジオサイト等における観察・体験ツアー等の実施(にかほ市、観光協会等) ③宮城県の旅行業者を招いたモニターツアーの実施 ④ジオサイト等を含む環鳥海地域のドライブコースの周知	(1)鳥海ダムを活用した観光コンテンツの開発 ①展望台設置済み(6月～) ②催行予定(8/6) (2)ジオパークの活用による観光産業の振興 ①にかほ市内5カ所に観光ARシステム設置(4/29～) ②「超人ネイガーと行くジオスポットツアー」(7/23、9月も予定) 「加田喜沼湿原 生きもの調査」を実施(7/24) ③ジオガイドによる解説付きで見学(7/26、5名) ④「まるっと鳥海ドライブガイド」(山形県庄内総合支庁と共同で作成)の改訂版を作成(2万部)

仙北地域 【目指す姿】アウトドア・アクティビティの聖地化とスノー&ナイト体験型観光の推進

プロジェクトの柱		取組方針	令和4年度の実組内容（県、市町村、観光協会等）	R4実績（R4.8.1現在）
1	田沢湖エリアや真木真昼エリア等を活用したアウトドア・体験型観光の推進	(1)大自然の魅力・恵みを全身で感じられる体験型コンテンツの造成・磨き上げ (2)乗り物を活用した自然満喫プランの推進 (3)ICT技術を活用した観光の推進	(1)大自然の魅力・恵みを全身で感じられる体験型コンテンツの造成・磨き上げ ①田沢湖アウトドア・アクティビティ体験動画制作(仙北地域振興局) ②真木真昼エリア利活用推進(仙北地域振興局) ③親子トレッキング教室を3回実施（小学生＋保護者対象、15組/回程度）(大仙市) ④秋～冬に山登り教室を3回実施(前年度受講開始者対象、定員30名、1コース:5回(座学1回、実習4回)(大仙市)) ⑤田沢湖リゾートイベント事業の実施(仙北市) ⑥グリーンツーリズムブラッシュアップ事業の実施(仙北市) ⑦観光ガイドの育成(美郷町) ⑧大仙市内で行われている「ジュンサイ摘み取り体験」等農業体験を観光コンテンツ化(大仙市観光物産協会) ⑨紅葉リフトの運行(大仙市観光物産協会) ⑩たざわ湖スキー場ゲレンデを活用したE-マウンテンバイク体験（田沢湖・角館観光協会） ⑪砂防堰堤を活用したボルダリング施設の整備(田沢湖・角館観光協会) ⑫田沢湖エリアで活性化しているアクティビティやサウナ等の新たなコンテンツの利用促進による宿泊施設への誘客(田沢湖・角館観光協会) (3)ICT技術を活用した観光の推進 ①角館オンデマンド交通「よぶのる角館」運行(仙北市) ②二次交通に関してDXを活用した検討(美郷町)	(1)体験型コンテンツの造成・磨き上げ ①田沢湖アウトドア・アクティビティ体験動画委託契約締結 委託期間:6/30～8/12 ・作成した動画をインフルエンサーのInstagramで発信予定 ②「え〜どご『県南』よってげ市」(7/30,7/31)において、真木真昼観光PR 動画放映、パンフレット配布 ・第3回真木真昼エリア利活用推進協議会への参加(5/16) ・真木真昼アウトドアフェスティバル開催予定(自然保護課) ④山登り教室の開催(4/17に座学、5/15に実習) ⑦ネイチャーガイド認定講習会実施(6/5,6/19,7/3,7/10) ⑧旅行会社や観光団体等への情報提供 ⑩田沢湖スキー場内の水沢砂防堰堤ボルダリング施設オープン(5/21) ⑫田沢湖地区ラウンドテーブル(田沢湖畔利用についての意見交換の場)発足についての各関係機関との事前協議 (3)ICT技術を活用した観光の推進 ①運行期間:R4.5.17～R5.3.31 ②県の事業(観光振興課)を活用した二次交通の検討開始
2	冬季及び夜の観光地としての魅力強化	(1)スノー体験型コンテンツの強化 (2)冬まつりや酒蔵等の地域資源を活用した冬と夜の誘客促進	(1)スノー体験型コンテンツの強化 ①廃止スキー場を活用したスノーアクティビティの集約と整備(田沢湖・角館観光協会) ②田沢湖スキー場内のキッズエリアの刷新とスノーパークのバージョンアップ(田沢湖・角館観光協会) (2)冬まつりや酒蔵等の地域資源を活用したスノーアクティビティの集約 ①冬まつりスタンプラリーの実施(仙北地域振興局) ②雫石・田沢湖・角館地域による誘客促進(仙北地域振興局) ③冬期間を想定したモデルルートの作成及び情報発信(美郷町) ④JAFのドライブスタンプラリー(大曲仙北観光圏域推進協議会)	(2)冬まつりや酒蔵等の地域資源を活用したスノーアクティビティの集約 ②3地域を巡るスタンプラリー事業の実施を計画 ④大曲仙北観光圏域推進協議会を開催し、今年度の予算及び事業計画について承認済(6/15)

平鹿地域 【目指す姿】魅力ある地域資源を活かした横手ファンの獲得

プロジェクトの柱		取組方針	令和4年度の実組内容（県、市町村、観光協会等）	R4実績（R4.8.1現在）
1	地域の食文化や歴史に触れる体験型観光の推進	(1)体験メニューの充実/触れて学べるツーリズムの推進 (2)特色ある食文化の情報発信の強化	○北東北観光キャンペーンへの参加 ○発酵フェスティバル等の実施	○北東北観光キャンペーン特別企画への参加 「名物女将から教わるみそ玉作り体験・特別ランチ付き」 ○発酵フェスティバル等、食関連イベントの県補助金へのエントリーおよび採択(食のあきた推進課)
2	マンガや内蔵の文化保存と継承が息づく増田エリアの回遊促進	(1)増田エリア内のアクセス向上/回遊促進 (2)まんが美術館と増田のまちなみが融合する取組 (3)まちなみ散策促進	○まんが美術館と蔵エリア回遊のための相互観光情報提供 ○漫画コンテンツを用いた街歩きアプリ「ON THE TRIP」の利用促進	○アプリ利用促進媒体(チラシ等)の制作 ○日本マンガ学会(6/18 秋田ふるさと村・秋田県立近代美術館、6/19 秋田県横手市増田まんが美術館)における情報提供、PR
3	スポーツと融合した誘客促進と気軽に滞在できる環境の充実	(1)モニターツアー造成等による商品造成促進	○「りんご三山プロジェクト」の実施(登山・トレッキングの旅行商品化) ○本物の自然に触れ、守る!「山と川のある町」再始動プロジェクト(観光庁補助事業)の実施(トレッキング、釣り等の旅行商品化)	○「りんご三山プロジェクト」県委託事業(農山村振興課:地域づくり活動支援事業)へのエントリーおよび採択 ○本物の自然に触れ、守る!「山と川のある町」再始動プロジェクト(観光庁補助事業)の採択

雄勝地域 【目指す姿】雄勝地域の人の魅力で、リピーターを生み出す

プロジェクトの柱		取組方針	令和4年度の実組内容（県、市町村、観光協会等）	R4実績（R4.8.1現在）
1	地元の人々の「顔が見える観光マップ」を通じた「名物人」との交流による「ここでしか味わえない雄勝」の体験	【観光マップのイメージ】	○観光マップ等作成のためのプロジェクトチームの立ち上げ ・観光マップコンセプトの磨き上げ ・掲載する「名物人」のリストアップ ・マップ活用方法の検討	・プロジェクトチームによる協議の準備中
2	「非日常」を体験する度に「レベルアップ(成長)」を実感する旅の提供による誘客の推進	【レベルアップ(成長)を実感する旅のイメージ】	○レベルアップを実感する旅のイメージづくり ・体験型コンテンツの付加価値の創出について検討	・プロジェクトチームによる協議の準備中